
スマブラで逃走中やっちゃうよー

瑞希 優羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラで逃走中やっちゃおうよー

【Nコード】

N7779X

【作者名】

瑞希 優羅

【あらすじ】

タイトルどおり、スマブラのキャラで逃走中をしマス

適当に頑張りますのでよろしくネ！

ヒマな人、是非ミテネ

はじめましょー

ゆうら「えっと・・・さっそくですが、スマブラのキャラの皆さん
逃走中やってください。」

まりお「はっ？何言ってるのゆうら、おまえ」

ゆうら「だから、とうそうちゆう・・・」

まりお「やらないぞ！なんでやらないとだめなんだよ！なあ、みん
な！」

スマブラのキャラたち「やりたくない・・・」

ゆうら「みんなあ・・・。だって友達が小説書き始めたんだもん。

ゆうらもやりたいよう。みんな100円ずつあげるから逃走中やる
っ！」

まりお「そんなんでみんながつけられる訳・・・」

スマブラのキャラたち「やるっ！」

まりお「はっ？みんな100円でつけられちゃったの？ねえ・・・」

ゆうら「みんなありがとー・・・さあ、まりおくんどうするかね？
みんなやるみたいだよ？」

まりお「うわっ！なんだこいつ・・・急に上から目線なんですけど
・・・。」

ゆじゆじ「あーするっ、あーするっ。」

まじゆじ「あー、まじやるよー！そのかわりちゃんど100円くれよー！」

ゆじゆじ「あーするっ、あーするっ。じゃあ、はじめよー逃走中ー！」。

はじめましょー (後書き)

見てくださった方々ありがとうございます！
これからも頑張りますね。

次、キャラ紹介書きたいと思います

キャラ紹介します。

ゆづら「それでは、キャラ紹介いつきまーす」

マリオ

ミスター任天堂！生意気なおっさん。

足は・・・遅いんじゃないかな？おっさんだから・・・

。

ルイージ

マリオの双子の弟。影が薄い・・・。

マリオ同様足は、遅いだろう。

ピーチ
リオモ

キノコ王国のお姫様。ムカつくやつには容赦ない（マ

その一人）ドレスだから足、遅いよね・・・

クッパ

いつも、ピーチをさらう悪いカメ。

やたらでかいし、短足だから足は、遅い！

ワリオ

なんか悪そうな顔をした人。不良みたい・・・。

足は、遅い！だって、おっさんだから……。

ドンキー

バナナが好きなサル。

足が速いのかは、うーん……わからない！

デイディー

ドンキーの弟分。バナナは好き。

すばしっこそう……。

リンク
いだ

ハイラルの勇者。ゼルダに片思い中。（本当は、両思

い！）足は、速そう……かな？

ゼルダ
思い

ハイラルのお姫様。リンクに片思い中。（本当は、両

だよ！）ドレスだから遅いだろう……。

シーク

いつもはぜるだの中にいる。今回は、私が分離
させたよ！足は、けっこう速い。

ガノンドロフ 顔がものすごく怖い……。作品中はガノンと略し

ます。足は……。うーん……。

トゥーンリンク ちっちゃいリンク。作品中はトゥーンと略します

足は、速いでしょう。

カービィ プップランドの住人。丸いピンクの物体。
足は、遅いと思う……。

デデデ大王 プップランドの王様。めんどくさがり屋。作品中はデデデと略します。足は、遅いんだろう……。

メタナイト 仮面をかぶった丸いやつ。素顔はかわいい。
足は、速そうだけど……。どうだろう？

ポケモントレーナー ポケモンを持っていなかったら普通の少年。

作品中はトレーナーと略します。
足は、普通ぐらいかな。

ピカチュウ 人気のポケモン。私も大好き。

なんか、すばしっこそう・・・。

ルカリオ ポケモンの映画で活躍したポケモン。波動が使える。
足は、まあまあ速いと思う。

プリン 丸くてかわいいポケモン。走るのはキライ。
隠れるのは得意。

ネス P S I が使える少年。かわいいのだが、たまにクロい発言
をする。足は、遅くもないし、速くもない・・・。

リュカ ネス同様 P S I が使える。心優しい少年。
(ネスとは違って・・・)
足は、ネスよりほんの少し遅いぐらいだろうか？

ピット　パルテナ親衛隊長。人の不幸が好きで、結構生意気な少年。

足は、普通よりも速め。

フォックス　スターフォックスのリーダー。時々、やんちゃなやつ？

足は、結構速いらしい。

ファルコ　スターフォックスのメンバー。あだ名は、焼き鳥。
足は、フォックス同様、結構速いらしい。

ウルフ　スターウルフのリーダー。フォックスやファルコとは、仲が悪い。
フォックス、ファルコ同様足は、結構速いらしい。

ポポ　アイスクライマーの一人。イメージカラーは水色。
足は、そこそこの速さ。

ナナ　アイスクライマーの一人。イメージカラーはピンク。

足は、そのその速さ。

スネーク

いつもダンボールの中に居るおじさん。

足は、普通ぐらいだろう。

ファルコン

なんか、いい感じのおじさん。

足は、すごく速い。らしい。

ロボット

ロボットです。片言でしゃべります。

足は、速いということにしておきます。

Mrゲーム&ウォッチ 真っ黒の人間。こちらも片言でしゃべる。

作品中はウォッチと略します。

足は、速くない。

サムス

逃走中には、ゼロスーツで挑みます。

足は、なかなか速いです。

ヨッシー

緑色の恐竜。なんでも食べる。
足は、結構速い。

アイク

グレイル傭兵団の団長。お肉大好き青年。
結構足は速い。

マルス

アリティアの王子。腹黒くてドS。
自分で俊足と語っている。

オリマー
ナシ。

ピクミンをつれている人間。逃走中では、ピクミン
足は、普通の速さ。

ソニック

青いハリネズミ。
足は、逃走者の中で一番速い。

マスターハンド

逃走中の管理を勤める。
私が100円で雇いました。
ミッションとかも作っています。気さくで面

白い人です。

クレイジーハンド マスターハンドと同じ文章です。

ハンター 足が速い人。

ゆづら 私です。ちよくちよく出てきます。

以上。

他にも、新しいキャラが出るときは、紹介します。

キャラ紹介します。(後書き)

キャラ紹介、疲れました・・・。

エリア紹介&ルール説明(前書き)

更新遅れてしまいました。

見てくださっていた方、申し訳ありませんでした。

以後、気をつけます。

エリア紹介&ルール説明

エリアショーかい

逃走中の舞台は『スマブラパーク』という場所に決定しました。

(勝手に作りました)

『スマブラパーク』はノースタウン、サウスタウン、イーストタウン、ウエストタウン、セントラルタウンの五つのエリアで構成されてるよ。

自首をするための電話ボックスは各エリアに1つずつ。

牢獄は、セントラルエリアの広場にあります。

エリアショーかいは以上。

次、ルール説明。

ルールは、普通の逃走中とあまりかわらないよ。

逃走時間は、240分。

賞金は、一秒200円ずつアップ。

逃げ切ることができれば、288万円ゲットできるよ。

もし、自首すればそれまでの賞金をゲットできるよ。

ハンターに捕まれば、もちろん賞金はなしだよ。

(だが、ゆづらが最初約束した100円はもらえます。)

そして、ここからは普通の逃走中にはないルールです。

ゲームの最初、逃走者にクレジットカードみたいなものが配られるよ。

このカードには、あらかじめ50ポイント入っていてミッションをクリアすることにポイントがたまっていくよ。

このポイントは、各エリアにある『武器屋』にてハンターに対抗するための道具と交換できるよ。

もらえるポイントの量は、ミッションによって異なるよ。

難しいミッションは、もらえるポイントが高いよ。

ルール説明は以上です。

では、逃走者のみなさんががんばってください。

エリア紹介&ルール説明（後書き）

なんとか、ルール説明終わりました。

次は、オープニングゲームですね。

がんばります。

オープニングゲーム!? (前書き)

今回は、更新がんばりました。

オープニングゲーム!?

スマブラパーク、セントラルエリアの城前。

ここに集められたのは、スマブラメンバー37人。

メンバーたちの目の前には、4つのハンターボックス。

ハンターボックスには、色とりどりの37本のクサリがつながっている。

マリオ「なんか緊張してきたんだけど……」

ルイージ「そうだね、それにもう皆集まってるしそろそろ始まるんじゃない?」

カービィ「楽しみペポ!」

ピット「金がもらえるってなんかヤルキでるよね!」

アイク「もし逃げ切れたら、お肉くいたい・・・」

皆さん前よりはヤルキになったようです。

すると、楽しくおしゃべりしている皆のうしろから・・・

?「やーみんなー。元気してる?」

メンバー一同「ん?」

後ろを振り返ったメンバー。

そこにいたのは・・・

マスター「みんな、こんにちは。マスターハンドとクレイジーハンドだよ!」

クレハン「だよっ!」

リンク「マスターハンドさんたちも参加するんですか?」

マスハン「いや、僕らは裏方だよ。ミッションとか考えたりとか・
」

クレハン「こうして、今現れたのもいろいろ説明しに來ただけだから・・・」

スネーク「そうなのか・・・」

マスハン「まあ、それはおいといて、早速逃走中を始めたいと思います。」

メンバー一同「イエーイ！」

急にテンション高っ!?

まあそれはいいとして、

クレハン「それでは、今から皆さんにはクジを引いてもらいます。」

(ちなみにこのクジは、昨日徹夜でクレハンががんばって作りました。)

ネス「あっ、それってあれでしょ？1番を引いた人から順番にあのクサリを引っこ抜いて

いくやつ！やったー！あれ一回やってみたかった………
……」

マスハン「ネス君、少しの間黙っていてください。」

ネス「はあ？そっちが黙れゴミハンド！」

さっきのネス君は一体どこへ………

マスハン「ごめんなさい。ねすくん。」

マスハン「き、気をとりなおして皆、クジを引いてくれ。」

皆がクジを引き終わりました。

リュカ「僕が1番です。怖い・・・」

ピット「やったー 最後だ最後ー！リュカーがんばっ」

フォックス「ピットいいなー俺、16番。中途半端でなんか嫌！」

マルス「僕は、2番。1番と2番と3番は、絶対安全。」

ゼルダ「なんでそんな事わかるんですか？ちなみに私は、29番です。」

マルス「それは、あれだよ。最初にあたりを引いちゃったらおもしろくないからだよ。」

クジ引きが終わり、なんだかテンション高めの皆さん。

オープニングゲームは、一体どうなるのか？

お楽しみに

オープニングゲーム!? (後書き)

やっと、本編に入りました。

これからも、がんばります。

オープニングゲーム!?

クレハン「じゃあ、クジ皆引き終わったみたいだから簡単にルールを説明するぜ。」

マスハン「……………」

マスハンはまだネスが放った言葉『ゴミハンド』のショックから立ち直れていないらしい……。

クレハン「ルールは、ネスが言っていたことと同じだ。一番を引いたやつから順にあのクサリを引いていく。それで、誰かが一本だけあるアタリのクサリを引いたらゲーム開始だ。」

ウォッチ「ツマリ、ソノ『アタリノクサリ』ト言ウノガ、ハンター放出ノクサリナンデスネ?」

クレハン「そーゆー事です。あと、皆にはこれを渡しとかないと……」

そういつて、クレハンが鞆から取り出したのは、37枚のカード。

そのカードをクレハンは、皆に手渡しで配った。

クツパ「なんだ？これ？」

マスハン「あっ！それは、説明する！」

さっきまで、一言もしゃべらなかったマスハンが急にしゃべった。

シーク「うわっ！びっくりした・・・さっきまであっちで沈んでいたのに、立ち直り早いな・・・」

マスハン「ちょっとまだ、気もちは沈んでるけど、これは説明しなかった。」

ウルフ「自分で、沈んでるとか言うなよ・・・」

ピカチュウ「それに、なんか理由が子供っぽい・・・」

マスハン「うっ、うるさいぞ！説明したかったんだからいいじゃないか！」

ヨッシー「別にいいですけど・・・」

マスハン「よし、じゃあ説明するぞ。このカードはスマカードと
いって、『スマ』というポイントをためるカードです。スマは、ミ
ッションをクリアすると貯まります。ちなみに、スマが貯まるとエ
リアに1つずつある道具屋でハンターに対抗する為の便利グッズと
交換することができますよ。

カードについての説明は以上。」

クレハン「次に、何か必殺技を持つてる人っているよね？PKナン
チヤラ〜とか・・・」

そんな人には『必殺技つかえなくなるリング』という
ものを指にはめてもらい

ます。」

クレハンは、必殺技が使える人たちにリングを渡した。

てか、ネーミングセンスなさすぎっ

クレハン「あと、羽とかついてる人、とってください。」

メタナイト&ピット「あいよ。」

ポスッ。

マリオ「羽って、取り外し可能だったの？なんか、もうなんでもアリなんだね。」

マリオ、あきれています。

マスハン「さあて、ルール説明も終わったことだし、そろそろ始めますか。」

そして一人目……

リュカがハンターボックスの前に立った。

ほかの皆は、ハンターボックスから20m離れた場所で待機している。

ポポ&ナナ「リュカ、何色にするの？」

リュカ「決めました。オレンジ色にします……それじゃ、引きますよ……せーのっ」

ガシャ・・・

一人目リュカ、セーフ。

ちなみに、セーフだった人はどこか遠くでゲームを始めることができます

リュカ「よかったです。それでは皆さん、頑張ってください。サヨナラ。」

リュカは、向こうのほうへ消えていった。

オープニングゲーム!? (後書き)

中途半端になってしまい、すみません。

近いうちに、更新しようと思います。

オープニングゲーム!?

オープニングゲーム2人目はマルス。

マルス「じゃあ、黒にしよーかな」

ドンキー「なんでハンターカラーなんだよ。」

マルス「2番目は、アタリを引かないって言うルールがあるから何色をひいてもいいんだよ。」

デイディー「そんなルール誰も作ってないと思う・・・」

ガシャ・・・

2人目マルスセーフ。

マルス「ほら、やっぱりひかなかった。」

ピーチ「リュカ君みたいに「セーの」とか言ってほしかった・・・」

マルス「じゃー皆がんばって。ばいばい」

ファルコ「何かあいつ、地味にムカつんだけど・・・」

全員「同感。」

マルスは皆がひどい事を言っているとも知らず向こうへ走っていった。

3人目は、ルイージ。

サムス「みなさん、逃げる準備オーケーですか？」

全員「大丈夫です。」

ルカリオ「ルイージ、もう引いてもいいぞ。こっちは準備できてる。」

「

ルイージ「ちよっ、皆何してんの？逃げる気まんまんじゃん。」

マリオ「だって絶対ひくじゃん……」

ルイージ「決めつけんなっ！」

ロボット「ハヤク、ヒイチャイマシヨウ。」

ルイージ「じゃあ、緑で……。ひきます……」

ガシャ……

3番めルイージセーフ。

ルイージ「ひゃっほおおおおっー！」

異常なくらい喜んでる……。

ネス「ちっ・・・ひかないのかよ。」

ルイージ「まあ、みんながんばって。」

ルイージは向こうへ走っていった・・・喜びながら・・・。

ファルコン「ルイージ・・・不安だったんだな。」

ファルコンは、走り去るルイージを見ながらつぶやいた。

そして、4番目ソニックは、白色。5番目ネスは、紫色。とクサリを引いていったがハンターはまだ放出されなかった。

そして次にクサリを引くのは、ガノン。

ピーチ「まさか、あなたが引かないわよね。」

ガノン「大丈夫だ・・・ろう。」

プリン「まあ、頑張るでプリ。」

トレーナー「で、何色引く？」

ガノン「うゝむ・・・茶色にしよう。」

オリマー「これまた、地味な色をえらびましたね。」

ガノン「じゃ、ひくぞ・・・」

ガッシャン・・・

ハンター放出。

出てきたハンター達が、まず狙うのは・・・ガノン。

ガノン「ちよつ、おええええ！ハンター早っ！無理無理、無理だつてば！無理いいいいいい」

ポン。

ガノンドロフ確保。

ぴろろろろろ・・・

メールだ。

スネーク「なにになに・・・ガノン確保か・・・当たり前だな！」

スマブラパーク城前・・・

ゆうら「おつかね〜。クレハン、マスハン」

マスハン「おおっ、ゆうら。」

ゆうら「いやあ〜、オープニングゲーム楽しかったよ。これからも

頑張ってくれ！我がしもべたちよ！」

クレハン「あんま調子のつたらぶち殺すよっ」

ゆづり「しゅめん・・・」

さて、次回より逃走中スタートです。

オープニングゲーム!? (後書き)

やっと、オープニングゲーム終わりました。頑張って書きます。

そこで、宣伝タイム。

まっきー(死神魔姫くんの事です)が書いてる、大乱逃走中って小説。

そっちも見てほしいです。

宣伝タイム終了。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7779x/>

スマブラで逃走中やっちゃんよー

2011年11月20日21時41分発行